

2007年7月27日発行 NO.1

# ちとせ会 ニュースレター

～山形県立保健医療大学作業療法学系同窓会～

はじめに

ちとせ会では、会員相互の情報交流を促進するために、ニュースレターを発刊することとなりました。創刊号では、昨年10月7日(土)に催された第2回総会、ならびにそれに先立つ記念講演の様をお伝えいたします。

## 第2回総会開催！！

### 1. 会長あいさつ(矢作 智志)

大雨の影響で、新幹線と道路が不通になり福田恵美子先生がいらっしやれませんでした。今回はご講演を慶徳民夫先生と竹原敦先生にお願いいたします。

### 2. 慶徳民夫先生講演「慶徳民夫の人生」

慶徳民夫が生まれたときに61年国民皆保険制度ができました。幼稚園入学のときにPT・OT法が制定されました。78年に金沢大学に入学しました。その年に全国地域リハ研究会ができました。

私の人格形成にはアルバイト先であった忍者寺が影響を与えました。先輩が大受けします。どうい話をすると受けるのかと考えさせられました。

82年に太田熱海病院に就職しました。この年に老人保健法ができました。5年間勤務しました。患者さんの生活にさらに近づいたことをやってみたいと思い、病院を移り、地域リハを始めました。きっかけ次第でできることがあります。脳挫傷の患者さんがスイッチでパソコンを操作できるようになりました。キーボードカバーも自作しました。

①運動機能の強化、②動作方法の指導、③物理的な環境整備のうち、②③を私の役割としました。イレクターも作りました。きっかけ作り、お膳立てが大切です。環境を変えると元気になります。元気になると地域が変わります。

その後、須賀川市役所に入りました。地域に出たのです。小児保健、リハビリ運動会にも関わりました。菊作りをしている患者さんが菊を分けてくださったこともありました。

### Q&A

Q：先生にとって家族の存在は？

A：長男がOTをめざしました。楽しい職業だと思われるようです。

Q：先生の夢は何ですか？



A：自分で事業所を立ち上げることです。子どもから高齢者まで関わるような。

### 3. 竹原 敦先生講演「事例検討の進め方」

事例検討は、作業療法実践の中で、カンファレンス、施設内勉強会はもとより、学術的な研究等によっても展開されます。このように事例検討は、様々な場面で実施されることが多いにも関わらず、具体的に報告書を作成し、発表することは困難を要します。今回は、作業療法において、事例検討を行う際の概要についてお伝えしました。

1965年以降の事例検討は、症例検討と呼ばれていたように医学の影響を受けていました。新規性のある疾患に対する作業療法を行ったことが既に事例としての価値を持っていました。その後、作業療法を行うこと自体が新規性を持つ、という見方は姿を消し、複数の対象者を統計的知見から検討するという実験研究が主流の時代もありました。しかし、作業療法をいかなる方法で実践し、その効果を明らかにすることができるか、あるいは、明らかにする必要があるのか、という時流が1985年に米国作業療法雑誌(AJOT)を動かし、AJOTに事例報告欄が設けられ、ますます事例の重要性が再認識されるようになりました。

本講演では、こうした背景に基づき、「事例をまとめる際の着眼点」「モデルや理論に基づいて事例を検討することの意義」「具体的な事例」および「作業療法におけるクリニカルリーズニング」という視点から、作業療法における専門職としての存在価値をお伝えしました。

尚、悪天候のため福田恵美子先生がご来校になれなかったので、急遽、竹原が過去の講演をもとにお話しさせて頂きました。準備がなされず、お聞き苦しかったかもしれないことをお詫び致します。

#### Q&A

Q：クリニカルリーズニングの際に、許容される幅はあるのですか？

A：セラピストの思考のプロセスをクリニカルリーズニングというので、セラピストごとに、いわゆる思考のぶれはあると考えられます。科学的リーズニングと実際のリーズニングは、どのセラピストによってもぶれにくいかもしれませんが。倫理的リーズニングも、きっとそうでしょう。しかし、叙述的リーズニングは、セラピスト間の違いが出てきやすいでしょう。クライアントの思考とセラピストの思考をある一定の安定した水準にする、それが作業療法介入の際のクリニカルリーズニングで、クライアントとセラピストとの対話により成熟していくものと考えられます。

#### 総会での審議結果

- ✦ 作業療法学系同窓会名称を公募・審議の結果「ちとせ会」とすることに決定し、承認された。
- ✦ 2006年度会計報告、ならびに2007年度予算案が承認された。
- ✦ 役員会の際の役員交通費を一律1千円とすることが提案され、承認された。
- ✦ 総会等の講師謝礼について、内部者は五千円とすることが提案され、承認された。
- ✦ 事業計画として、今後も定期的に総会を開いていくことが提案され、承認された。

#### 編集後記

山形から離れている方、山形にいる方、お元気ですか？第3回の総会では、久しぶりに、友人・先生、そして山形の空気に触れ癒されたいと思います。今年は総会で会いましょう☆ (Y. W)